

向陽中学校学校運営協議会

に期待する1年と



杉並区立向陽中学校
校長
齋藤 耕一郎

杉並区では、平成17年度から区立小・中学校に学校運営協議会を設置し、令和3年度には全小・中学校がコミュニティ・スクールとなりました。学校と地域が一体となり、どのような子どもを育てたいのか、または、どのような地域社会を作りたいのかという共通の目標を目指し、さらに、そのために何をすれば良いのかを考え、学校・地域・保護者が、協力し合って子どもを育てる当事者となり進めていく仕組みです。そこで、学校運営協議会の委員でもある齋藤校長先生に、運営協議会について思うことや期待することを伺いました。

(杉並区教育委員会発行のリーフレットより引用)

今年度、向陽中学校に着任しました齋藤耕一郎です。向陽中学校に赴任し、学校運営協議会の存在を大変ありがたく思っています。学校運営協議会は、地域・保護者の代表であり、学校を外から見ている方々のご意見がいただける場でもあります。年度当初、私にとって地域や保護者の状況がまだつかめていない中でのスタートとなりました。そのような状況の中で、学校へのご意見やご助言を月1回の学校運営協議会で聴かせていただき応援していただけることを感謝しております。

学校の課題解決にあたっては、教職員だけではどうしても視野が狭くなりがちです。いろいろな専門分野で活躍されている委員の皆様視点で、学校運営の改善に向けて一緒に考えていただけることに心強く感じています。いろいろな方面の専門家としての視点からご意見をいただけることは、私にとっても新しい交流によって新しい経験もでき、新しい学びもありうれしい限りです。

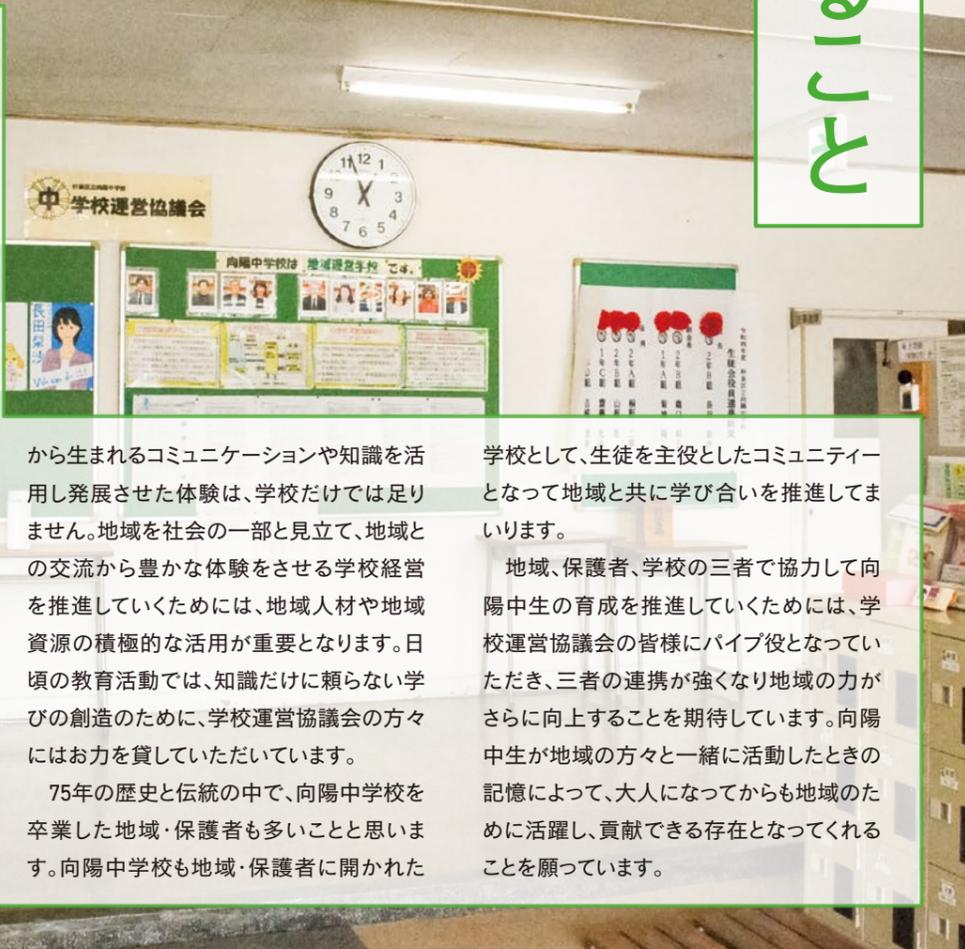
生徒が主体的に学ぶためには、学校の中だけでは限界があります。特に人との交流

から生まれるコミュニケーションや知識を活用し発展させた体験は、学校だけでは足りません。地域を社会の一部と見立て、地域との交流から豊かな体験をさせる学校経営を推進していくためには、地域人材や地域資源の積極的な活用が重要となります。日頃の教育活動では、知識だけに頼らない学びの創造のために、学校運営協議会の方々にはお力を貸していただいています。

75年の歴史と伝統の中で、向陽中学校を卒業した地域・保護者も多いことと思えます。向陽中学校も地域・保護者に開かれた

学校として、生徒を主役としたコミュニティとなって地域と共に学び合いを推進してまいります。

地域、保護者、学校の三者で協力して向陽中生の育成を推進していくためには、学校運営協議会の皆様にパイプ役となっただけ、三者の連携が強くなり地域の力がさらに向上することを期待しています。向陽中生が地域の方々と一緒に活動したときの記憶によって、大人になってからも地域のために活躍し、貢献できる存在となってくれることを願っています。



Topics! 第18回 生徒・保護者アンケート実施

アンケートの意義

このアンケート調査は、平成17年以来向陽中学校運営協議会独自で続けているものです。その意義は、次の二つです。

- ① 定期的に同じ質問をすることにより変化の兆しを感じ、早期に問題発見・改善・予防の為の行動に繋げる。
- ② 日頃届きにくい生徒・保護者の自由な意見を伺う。

○生徒アンケートには「学校生活」「いじめ」「授業」「地域との関わり」などの質問項目があります。生徒の回答は学年別に分析し、全教科の授業充実度等を前年度と比較して、目立った変化が見られる教科に関しては授業内容や指導方法の改善をお願いしています。

○保護者アンケートでは、学校生活について生徒の回答と比較検討しています。また保護者の皆様から寄せられた疑問や要望などのご意見を学校側に提示し、対応が必要と思われる意見に関しては、校長先生に事実・原因および今後の対応を確認しています。

今年度の保護者アンケートはGoogleフォームにて回答をお願いしております。

第1回 4月26日

- 齋藤新校長より「地域の皆様とともに様々な事を学んでいきたい」との挨拶があった。
- 学校経営方針の説明があり、承認された。
- 本校は区内でも部活数が多いため顧問教員が足りず、特に試合引率がある部活動の顧問の負担が大きいと説明があった。
- 1年生に食物アレルギー生徒が複数いるため教室配置を職員室の近くとし、他学年の教室も変更したと報告があった。
- これまでの短縮時程「45分授業」は廃止しすべて「50分授業」とし、行事の際は授業カットで対応していくとの説明があった。

第2回 5月24日

- 校長よりフレンドシップスクールに同行したと報告があった。自室に1人である生徒が数名おり、コミュニケーションが苦手な生徒へフォローの必要性を感じたとのこと。
- 令和3年度生徒・保護者アンケート総括を行い、質問項目の見直しを行った。今年度も10月に実施する予定。

質疑応答

Q.部活動の顧問が足りないという話があったが、募集を止める部活動があるのか？

A.入部募集としたところ全部の部活動に新入部があったので現状通り。

Q.昨年度の協議会で、生徒を「さん付け」で呼ぶ提案をしたが、具体的に進んでいるか。

A.1年生教員の中には「さん付け」している者もいるが他学年はそうではない。引き続き検討したい。

Q.土曜授業に外部講師をお呼びしているが、土曜授業の総括(反省や次回へのアイデア)はどのように行われているのか。

A.生徒の感想や教員側の意見は、学校・地域コーディネーターにお渡ししている。今後は、学年ごとの講演テーマを決める段階からコーディネーターとともに協議することも検討していきたい。

第3回 6月27日

- 6月4日に運動会が行われた。3年ぶりに地域来賓も招待され、生徒たちの充実した様子を見ることができた。
- 令和5年度実施の修学旅行の行先を鹿児島から長崎に変更、平和学習、異文化交流等を行う予定とのこと。
- 「配慮を要する生徒」(不登校・特別支援・アレルギー等)の状況に関する報告があった。校長からは、KSCCや学校支援本部をはじめ、いろいろな方々に入っていただいて支援してほしいと要望があった。

- 教員と学校運営協議会委員の合同研修会の再開について平成29年から平成31年までに、6回開催したが、コロナ禍で無くなってしまった。第2回協議会にテーマを決めて行うということになったが、具体的にテーマを決めたいと思う。
- テーマ案「支援が必要な生徒のための支援体制について」「学校の規則の見直しについて」等今後検討事項。
- 地域からCafé開催と今後の予定報告、協議会委員桜井氏の紹介によるネパール語試験問題通訳の援助の報告があった。

第4回 7月21日

- 水泳指導開始。男女共修のためプール両サイドに分かれての指導とのこと。
- 2年生の職場体験実施の報告があった。
- 7月9日土曜公開授業において、奈良県立美術館館長の藪内氏と東京ファミリーeルール事務局の四方氏より講義を受け、地域・保護者から多数参観があった。
- 生活指導主任より、1学期中の生活指導に関する報告を受けた。
- 令和3年度の校内予算決算について事務より説明があった。

質疑応答

Q.学校ホームページ更新があまりされないようだが、ICT支援員の業務が多すぎるなどICT推進上の問題点などはあるのか。

A.学校ホームページは現在更新に向け準備を進めている。7月下旬に2回ICT支援員が来訪し学校だより等についても掲載予定である。

第5回 8月25日

- 9月14日～16日まで修学旅行(京都・奈良)を予定通り実施する。コロナ濃厚接触生徒については前日・当日に抗原検査を実施し陰性なら許可するとのこと。
- 栄養士の石田厚子さんが7月に離任し、8月からは高円寺学園の栄養士1名に応援いただくことになったと説明があった。
- 保健体育科の時間講師として6月に着任した加藤侑先生を1学年教員として10月11日から採用したと報告があった。
- 学校側より、1年生のクラス対象に給食見守りボランティアの協力依頼があった。今後、書面を通して参加を募っていくことができたらとのこと。

第6回 9月20日

- 向陽中体験プログラムが、9月6日高三小、8日永福小にて行われたと報告があった。
- 9月10日に職場体験学習発表会が行われた。また道徳授業地区公開講座も行われ教員・保護者・地域との意見交換を行った。
- 修学旅行は予定通り実施され成功裡に終了したと報告があった。
- 「R4 いじめ防止対策委員会記録」について確認されたいじめの事実のみが記載される様式となっている。「学校いじめ対策委員会」の意義は、いじめの情報を共有するほか、当該事実に基づいて、どのように解決していくのかを協議し、対応方針等を立て、組織的な問題解決を図るものとされている。そのため、協議の内容や協議の上で決定された対応方針についても記載できるよう様式を改めることが適切であると、協議会委員より話があった。
- 教職員の任用に関する意見書の提出について説明があった。



R4 学校運営協議会 委員紹介

令和4年度



令和4年10月
発行/編集 杉並区立向陽中学校 学校運営協議会
〒168-0073 東京都杉並区下高井戸3-24-1
電話:03-3302-2989 FAX: 03-3302-5736
http://www.suginami-school.ed.jp/kouyoucyu/

第36号

向陽中学校 学校運営協議会

たより



<p>会長</p>  <p>原田 崇史 弁護士</p>	<p>委員</p>  <p>齋藤 敬 向陽スポーツ文化クラブ副会長 音楽事務所、運送業経営</p>	<p>委員</p>  <p>入江 優子 東京学芸大学准教授</p>	<p>委員</p>  <p>齋藤 佳子 学校支援本部員</p>	<p>委員</p>  <p>桜井 誠人 卒業生 宇宙航空研究開発機構 [JAXA]勤務</p>
<p>委員</p>  <p>鈴木 祐二 卒業生 NPO法人すぎなみ子どもサポート代表</p>	<p>委員</p>  <p>林 政夫 塾経営</p>	<p>委員</p>  <p>十亀 章子 永福小学校支援本部部長 学校支援本部員</p>	<p>委員</p>  <p>中島 征也 現PTA事務局代表</p>	<p>委員</p>  <p>箕輪 留美子 元PTA広報委員長</p>

<p>委員</p> <p>New!</p>  <p>齋藤 耕一郎 学校長</p>	<p>委員</p> <p>New!</p>  <p>財城 真寿美 成蹊大学教授</p>	<p>新任のご挨拶</p> <p>ユネスコスクールの候補校として、向陽中学校がSDGsに関連した活動を進めていけるようお手伝い・アドバイスが出来ればと考えております。どうぞよろしく願っています。</p>
---	--	---



ご挨拶

保護者の皆様におかれましては、平素より、学校運営協議会の運営に対し、ご理解とご協力を賜り、この場を借りて、まずは、篤く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、2020年以降、子供たちや学校を取り巻く環境が大きく変化する中でも、子供たちはこれに柔軟に対応し、日々、充実した学校生活を送っているように見受けられます。

これは、子供たちの努力はもちろんのこと、保護者の皆様と向陽中学校の教職員の方々の子供たちに対する思いの賜物と受け止めています。

学校運営協議会としても、地域の一人とし

て、保護者の皆様や教職員の方々との意見交換を通じ、現在の難しい環境の下、子供たちが少しでも実りのある学校生活を送ることができるよう、努力を重ねているところです。

子供たちの豊かな成長のためには、「社会総掛かりでの教育」の実現が必要とされ、学校も、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」へと転換していくことが重要とされています。

学校運営協議会は、このような背景のもと、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づいて設置され、①校長が作成する学校運営の基本方針の承認、②学校運営についての教育委員会又は校長への意見申述、③教職員の任用に関する教育委員会への意見申述を、主な役割としています。

私をはじめ、学校運営協議会の委員の多

くは教育の素人ではありますが、今後とも、謙抑的かつ中立の姿勢を忘れずに、微力ながら、「地域とともにある学校」作りのお手伝いのできればと考えています。

保護者の皆様におかれましては、このような学校運営協議会制度の意義についてご理解をいただくとともに、子供たちの豊かな成長、より良い未来のため、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

杉並区立向陽中学校
学校運営協議会 会長
原田 崇史

